

## 臨床検査部

### 1. スタッフ

部長（兼）病院教授 日高 洋

その他、病院教授 2 名、講師 1 名、医員 1 名、医療技術助手 1 名、看護技術補佐員 5 名、事務補佐員 2 名（兼任を含む）。医療技術部検査部門スタッフについては、医療技術部の頁を参照のこと。）

### 2. 活動内容

(1) 国際認定 ISO 15189 に基づいた検査体制：

ISO 15189 の要件に従った品質マネジメントシステムを構築し、臨床検査の国際的な精度保証のもと本院の診療体制に日々貢献している。

(2) 検査実施項目の充実：

オンコマイン、MSI 検査、NUDT15 遺伝子多型、RBI スクリーニング、RBI シングルサイト、SMA 遺伝学的検査などの 26 項目を新規外部委託検査に追加した。また、インフリキシマブ定性検査を新たに部内で実施することとし、M2BPGi 及び TARC を外部委託検査から部内検査に取り込んだ。

### 3. 活動体制

当部では、検体・システム管理部門 3 名、血液一般検査部門 15 名、臨床化学検査部門 13 名、感染症免疫検査部門 16 名、生理検査部門 16 名の 5 部門と高度救命センター 1 名及び感染制御部 1 名の医療技術部所属の臨床検査技師と技能補佐員が検査業務を実施するとともに、臨床検査部所属の看護師及び臨床研究センター所属の看護師と共同で外来採血を実施している。

検査項目の多くは、迅速な結果報告が可能であり、緊急検査、外来診察前検査に対応し、絶えず新測定装置の導入を見据えた運営を行っている。また、土日祝並びに夜間緊急検査は 24 時間体制で実施している。平成 29 年度には血友病患者の脳死臓器移植にいつでも対応できるようにするため、第Ⅷ因子と第Ⅸ因子の測定を常に行える体制にした。また、血液培養陽性時には質量分析法による同定菌種名の迅速報告を開始した。

専任の教員は、診療各科からの要望への対応、外来患者の臨床検査に関する問い合わせへの対応など、当部の運営全般に携わっている。

兼任の教員・医員及び関係各科の医師が心臓超音波

検査、エルゴ負荷心電図、筋電図検査、骨髄検査などを担当している。

### 4. 活動実績

次頁に平成 28 年度～平成 30 年度に実施した主要区分別検査件数の推移を示す。

(1) 職員感染症検診（測定件数・測定項目）

全職員：2,413 件（HBs 抗原、HBs 抗体、ムンプス IgG、水痘 IgG）

新規・中途採用職員：547 件（HBs 抗原、HBs 抗体、HCV 抗体、HIV スクリーニング、麻疹 IgG、風疹 IgG、水痘 IgG、ムンプス IgG）

(2) 体液暴露関連検査 133 件

(3) アウトブレイク対策検査：感染症検査 131 検体  
遺伝子検査 7 検体

### 5. その他

2 名が日本臨床検査医学会臨床検査専門医であり、本院は日本臨床検査医学会認定病院である。

また、平成 28 年 6 月 1 日付で骨髄検査技師認定制度研修施設に指定されている。

臨床検査技師は精力的に研究活動、技術向上に努めており、博士 10 名、修士 16 名、Infection Control Doctor 3 名、感染制御臨床微生物検査技師 6 名、認定臨床微生物検査技師 6 名、骨髄検査技師 1 名、認定専門技師（心エコー）2 名、血管診療技師 1 名、認定心電図検査技師 2 名、超音波検査士（循環器 4 名、消化器 3 名、体表臓器 2 名、泌尿器 2 名、血管 1 名、健診 1 名）、認定血液検査技師 6 名、認定一般検査技師 2 名、認定臨床化学者 1 名、NST 専門療法士 1 名、二級臨床検査士（微生物学 4 名、血液学 2 名、呼吸生理学 1 名、循環生理学 1 名、臨床化学 1 名）、緊急臨床検査士 3 名、消化器内視鏡技師・未病専門指導師・医用質量分析認定士・健康食品管理士各 1 名などの学位・資格を取得している。

平成 30 年度中に施行した倫理委員会で承認された臨床研究は 10 件。

### 主要区別検査件数の推移

